

診療科別コース一覧【放射線科】

令和7年9月2日

○ キャリア形成支援機関及び診療科別コース

各診療科別コースは新プログラム向けに策定されています（「放射線科／診療支援部門」を除く）。旧プログラム選択者については、新プログラム向けの診療科別コースを参考にキャリア形成プランを作成します。

千葉大学医学部附属病院

放射線科／診療支援部門【変更】 1

順天堂大学医学部附属浦安病院

放射線科／診療支援部門 2

放射線科／診療支援部門 《非常勤》 3

国際医療福祉大学成田病院

放射線科／診療支援部門 4

東邦大学医療センター佐倉病院

放射線科／診療支援部門 5

日本医科大学千葉北総病院

放射線科《非常勤》【変更】 6

亀田総合病院

放射線科／診療支援部門【変更】 7

診療科別コース（診療支援部門）（当初作成日：令和元年11月18日）

1 概要

診療科（基本領域）	放射線科
キャリア形成支援機関	千葉大学医学部附属病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	放射線科 科長・教授 宇野 隆
問合せ先	043-226-2100 chibadairad@gmail.com
コースの特長	幅広い医療機関から就業先を選択可能 大学院での学術研究により博士号取得可能

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考（標準的な取得時期等）
放射線科専門医	医師免許取得後6年目
放射線診断専門医・治療専門医	医師免許取得後8年目
第1種放射線取扱主任者	医師免許取得後6年目
検診マンモグラフィ読影認定医師	医師免許取得後6年目
医学博士	医師免許取得後6～9年目

3 キャリアパスのイメージ（想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません）

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修	専門研修（放射線科）		サブスペシャル ティ領域 専門研修					
		基幹	連携						
勤務先 医療機関※	臨床研修病院群		診*	診*	診*	診*			

※勤務先医療機関：臨床研修病院群…県内の臨床研修病院
 診…診療支援部門群、猶予…県外での勤務等による猶予、
 診非…診療支援部門群における非常勤での勤務
 *：4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関（将来的な配置を約束するものではありません）

診療支援部門群（診）
千葉大学医学部附属病院、成田赤十字病院、聖隷佐倉市民病院、東邦大学医療センター佐倉病院、船橋市立医療センター、千葉県がんセンター、 国立がん研究センター東病院、千葉労災病院、量子科学技術研究開発機構 QST 病院

※ あくまで地域A群病院に行くことが本制度の趣旨であり、地域A群病院でニーズが生じ、相応の受入体制が整備された場合は、地域A群病院に配置されることになります。

【地域A群に対する、当該診療科に係る支援（医師の派遣・遠隔医療・オンライン診療・診療科に係る相談等）について】

（1）想定される支援先医療機関

・東千葉メディカルセンター、国保多古中央病院

（2）想定される支援内容

・非常勤勤務による画像診断

（参考：キャリア形成支援機関の地域A群に対する支援実績）

・東千葉メディカルセンター 年間約7000件、国保多古中央病院 年間約1700件の画像診断を行う。

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

- 放射線科領域は進歩が目覚ましく、臨床的にも研究的にも、やりがいのある領域です。
- 千葉大学を中心として、画像診断医、放射線治療医共に緊密に連絡を取り合っており、質の高い医療、教育を提供しています。
- 関連病院を中心に自由度の広い選択が可能であり、様々な経験を積むことができます。
- 専門研修と同時並行して大学院での学術研究が可能であり、比較的早期に博士号取得が可能です。
- 猶予期間を組み合わせることで留学にも対応可能です。

（注意事項）

- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間（妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等）等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します。

令和4年8月30日時点

順天堂大学医学部附属浦安病院—放射線科

診療科別コース(診療支援部門)(当初作成日:令和4年8月30日)

1 概要

診療科(基本領域)	放射線科
キャリア形成支援機関	順天堂大学医学部附属浦安病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	放射線科 科長代行 鈴木 通真
問合せ先	mi-suzuki@juntendo-urayasu.jp
コースの特長	・個々のキャリアプランに併せて柔軟に研修を実施することが可能 ・大学院での学術研究を並行して行い、医学博士の取得が可能

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
放射線科専門医	医師免許取得後6年目
医学博士	医師免許取得後7年目
放射線診断専門医	医師免許取得後8年目
放射線治療専門医	医師免許取得後8年目
IVR 学会専門医など	医師免許取得後6～9年目

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修		専門研修（放射線科）						
			基幹	連携	基幹				
勤務先 医療機関※	臨床研修病院群		診*						

※勤務先医療機関: 臨床研修病院群…県内の臨床研修病院
診…診療支援部門群、猶予…県外での勤務等による猶予
診非…診療支援部門群における非常勤での勤務
*:3～4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

診療支援部門群(診)
順天堂大学医学部附属浦安病院 千葉大学医学部附属病院 東邦大学医療センター佐倉病院 国際医療福祉大学成田病院

※あくまで地域A群病院に行くことが本制度の趣旨であり、地域A群病院でニーズが生じ、相応の受入体制が整備された場合は、地域A群病院に配置されることになります。

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

当院の専門研修プログラムでは、がん拠点病院、三次救急指定病院としての豊富な症例のもと、数多くの症例を経験することができます。IVR や核医学、消化管造影検査など、実際に体を動かして検査・治療を組み立てていく力を身につけることができます。CT や MRI でも最新の装置を用いた診療で、基礎から画像診断を習得することが可能です。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します。

令和4年8月30日時点

順天堂大学医学部附属浦安病院—放射線科

診療科別コース(診療支援部門)(当初作成日:令和4年8月30日)

1 概要

診療科(基本領域)	放射線科
キャリア形成支援機関	順天堂大学医学部附属浦安病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	放射線科 科長代行 鈴木 通真
問合せ先	mi-suzuki@juntendo-urayasu.jp
コースの特長	・個々のキャリアプランに併せて柔軟に研修を実施することが可能 ・大学院での学術研究を並行して行い、医学博士の取得が可能

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
放射線科専門医	医師免許取得後6年目
医学博士	医師免許取得後7年目
放射線診断専門医	医師免許取得後8年目
放射線治療専門医	医師免許取得後8年目
IVR 学会専門医など	医師免許取得後6～9年目

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修		専門研修（放射線科）						
			基幹	連携	基幹				
勤務先 医療機関※	臨床研修病院群		診、診非、*						

※勤務先医療機関: 臨床研修病院群…県内の臨床研修病院
診…診療支援部門群、猶予…県外での勤務等による猶予
診非…診療支援部門群における非常勤での勤務
*:3～4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

診療支援部門群(診)
順天堂大学医学部附属浦安病院 千葉大学医学部附属病院 東邦大学医療センター佐倉病院 国際医療福祉大学成田病院

※あくまで地域A群病院に行くことが本制度の趣旨であり、地域A群病院でニーズが生じ、相応の受入体制が整備された場合は、地域A群病院に配置されることになります。

想定される勤務シフト(週の勤務日数等)

- ・順天堂大学医学部附属浦安病院で週3日程度、その他の診療支援部門群で週2日程度
※主に大学院の学位取得を目的とする場合

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

当院の専門研修プログラムでは、がん拠点病院、三次救急指定病院としての豊富な症例のもと、数多くの症例を経験することができます。IVR や核医学、消化管造影検査など、実際に体を動かして検査・治療を組み立てていく力を身につけることができます。CT や MRI でも最新の装置を用いた診療で、基礎から画像診断を習得することが可能です。

(注意事項)

- ・実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します。

診療科別コース(診療支援部門)(当初作成日:令和4年8月30日)

1 概要

診療科(基本領域)	放射線科
キャリア形成支援機関	国際医療福祉大学成田病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	放射線科 部長 桐生 茂
問合せ先	0476-35-5600
コースの特長	大学院での学術研究により博士取得可能 多数の症例経験と臨床手技の習得が可能

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
放射線科専門医	医師免許取得後6年目
医学博士	医師免許取得後8年目

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修	専門研修(放射線科)							
		基幹	連携	基幹					
勤務先 医療機関※	臨床研修病院群	診	診*	診*	診*	診*	診	診	

※勤務先医療機関: 臨床研修病院群…県内の臨床研修病院
 診…診療支援部門群、猶予…県外での勤務等による猶予
 診非…診療支援部門群における非常勤での勤務
 *:3-4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

診療支援部門群(診)
国際医療福祉大学成田病院、量子科学技術研究開発機構 QST 病院

※あくまで地域A群病院に行くことが本制度の趣旨であり、地域A群病院でニーズが生じ、相応の受入体制が整備された場合は、地域A群病院に配置されることになります。

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

当プログラムは、当院を基幹施設として、連携施設には国際医療福祉大学病院、三田病院など、多くの施設により構成されています。国際医療福祉大学内の施設は、遠隔診断システムで接続されており、国際医療福祉大学熱海病院、市川病院、塩谷病院、山王メディカルセンター、赤坂山王メディカルセンター等の関連施設の症例も経験することができ、common disease からまれな疾患まで幅広く学べます。最新の放射線治療装置を有し、放射線科専門医としてバランスのよい研修を行い、学会発表や論文作成を通して、研究者としての訓練も受けられます。

また、博士号取得をめざしたい方は、研究テーマをもとに、研究の遂行も可能です。ベトナム国立チョーライ病院とのジョイントプロジェクトである、ドック健診センター(HECI)の放射線診断にも深くかかわっており、チョーライ病院の放射線科医と共同で放射線診断業務を行っています。開設して間もない当教室は、常に変化してきた放射線医学において、これからの新しい時代に対応した体制を築きやすいという強みがあります。当プログラムで研修を行い、一緒に教室の歴史をつくってくれる方を募集します。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します。

診療科別コース(診療支援部門)(当初作成日:令和4年3月29日)

1 概要

診療科(基本領域)	放射線科
キャリア形成支援機関	東邦大学医療センター佐倉病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	東邦大学医療センター佐倉病院 放射線科 診療科責任者 教授 寺田 一志
問合せ先	043-462-8811 / kyouiku-sakura@ml.toho-u.jp
コースの特長	- 放射線診断と放射線治療のバランスに自信 - 満遍なく学び、興味ある分野へと進出できる育成環境 - 大学院での学術研究を並行して行い、医学博士の取得が可能

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
放射線科専門医	医師免許取得後6年目
放射線診断専門医	医師免許取得後8年目
放射線治療専門医	医師免許取得後8年目
医学博士	医師免許取得後6～9年目
放射線カテーテル治療専門医(旧 IVR 学会専門医)	医師免許取得後8～9年目
核医学会専門医	医師免許取得後7～9 年目

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床検査		専門研修（放射線科）						
			基幹	基幹	連携				
勤務先 医療機関※	臨床研修病院群		診＊						

※勤務先医療機関: 臨床研修病院群…県内の臨床研修病院
 診…診療支援部門群、猶予…県外での勤務等による猶予
 診非…診療支援部門群における非常勤での勤務
 診*…3～4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

診療支援部門群(診)
東邦大学医療センター佐倉病院、聖隷佐倉市民病院、東京女子医科大学附属八千代医療センター、医療法人社団保健会谷津保健病院、船橋市立医療センター、順天堂大学医学部附属浦安病院

※あくまで地域A群病院に行くことが本制度の趣旨であり、地域A群病院でニーズが生じ、相応の受入体制が整備された場合は、地域A群病院に配置されることになります。

【地域A群に対する、当該診療科に係る支援(医師の派遣・遠隔医療・オンライン診療・診療科に係る相談等)について】

(1) 想定される支援先医療機関

- ・東千葉メディカルセンター

(2) 想定される支援内容

- ・放射線診断、放射線治療に関わる相談を受ける。
- ・研修終了後の当該医師の常勤／非常勤での派遣。

(参考: キャリア形成支援機関の地域 A 群に対する支援実績)

- ・当方と先方の間で医師の移動がある診療科ではこれまでも個人的に放射線診断、放射線治療に関わる相談を受ける事がある。

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

- ・基幹施設、関連施設ともに中小規模の病院が多いため、放射線科と他科との垣根が低く、各診療科間の風通しもよく、全身を満遍なく学ぶべき放射線科初期教育には非常に良い環境であると自負しています。
- ・放射線診断専門医／放射線治療専門医の取得だけでなく核医学、IVR などのその他の専門医の取得も奨励・援助しています。
- ・社会人大学院への入学を奨励しており、専門医と並行して学位を取得することも可能です。佐倉病院には動物舎はありませんが細胞を用いた基礎研究も可能です。千葉県内での放射線科研修を行いながら、同時に都内にある東邦大学医学部の施設を利用した基礎実験を行う事も可能です。
- ・国内外の学会参加への援助、学会発表・論文発表の奨励及び指導を積極的に行っています。

(注意事項)

- ・実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します。

診療科別コース(当初作成日:令和元年11月18日)

1 概要

診療科(基本領域)	放射線科
キャリア形成支援機関	日本医科大学千葉北総病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	放射線科 部長 准教授 嶺 貴彦
問合せ先	0476-99-1111 / t-mine@nms.ac.jp
コースの特長	・ 非常勤を組み合わせ、義務年限内でのコース修了を想定 ・ 大学院での学術研究を並行して行い、医学博士の取得が可能

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
放射線科専門医	医師免許取得後 6 年目
放射線診断専門医	医師免許取得後 8 年目
放射線治療専門医	医師免許取得後 8 年目
医学博士	医師免許取得後 8-9 年目
IVR 学会専門医・核医学会専門医・PET 認定医など	医師免許取得後 6-9 年目

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修	専門研修(放射線科)			連携				
		基幹	基幹						
勤務先 病院※	臨床研修病院群	B			B、A非、*				

※勤務先病院: 臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、A非…地域A群非常勤での勤務、猶予…県外での勤務等による猶予

*:3~5 年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

地域A群	地域B群	県内病院群
千葉県立佐原病院 千葉県循環器病センター	日本医科大学千葉北総病院 船橋市立医療センター	

【地域A群における非常勤での勤務について】

想定される勤務シフト(週の勤務日数等)

週 2 日の非常勤での勤務を 5 年間(常勤換算方法:0.4 年×5=2 年)

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

放射線科総合修練施設としての歴史を持つ当院は、バランスの良い総合的な学識と各種の専門技術の同時修得による、Generality と Specialty の高いキャリア形成を目標としています。
また、学術研究も励行しており、日本医科大学放射線医学教室として、医学博士の取得もサポートします。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース(診療支援部門)(当初作成日:令和元年11月18日)

1 概要

診療科(基本領域)	放射線科
キャリア形成支援機関	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	亀田総合病院 放射線科部長 庄司 一寅
問合せ先	亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp
コースの特長	- ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 - 身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 - 充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期(自科・他科)とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
放射線科専門医	医師免許取得後6年目
放射線診断専門医	医師免許取得後8年目
放射線治療専門医	医師免許取得後8年目
日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医	医師免許取得後7年目
医学博士	医師免許取得後9年目 (県外の大学院の場合、猶予期間を利用)

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目	5 年 目	6 年 目	7 年 目	8 年 目	9 年 目
状 況	臨床研修		専門研修（放射線科）						
勤務先 医療機関※	臨床研修病院群		診						

※勤務先医療機関: 臨床研修病院群…県内の臨床研修病院
診…診療支援部門群、猶予…県外での勤務等による猶予
診非…診療支援部門群における非常勤での勤務

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

診療支援部門群(診)
亀田総合病院 総合病院国保旭中央病院

※あくまで地域A群病院に行くことが本制度の趣旨であり、地域A群病院でニーズが生じ、相応の受入体制が整備された場合は、地域A群病院に配置されることになります。

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

放射線診断レベルを向上させるには、様々な文献や教科書を参考にしながら、実際の画像診断にて研修を重ねることが必要です。しかし、これには優秀な読影医師について学ぶことが必要です。教科書を読むだけではなかなかレベル向上はできません。それは、どの所見を有意にとり、どれを有意ととらないかは専門医を習得した先輩たちの指導の下でなければ習得することはできないからです。手から手にひとつひとつ渡すように知識と経験を積むことで自らのレベル向上がはかられます。

亀田総合病院は1日外来数3,000名、病床1,000床で、診断機器も大学病院を凌ぎ、一月で読影すべきCT、MR、RI件数は約5,500件と豊富な症例もあります。研修するには十分な症例があり、指導医もおります。放射線治療部門も同様に優秀な先生方と症例があります。

また、当科の取り組みとして、臨床病理科との共同診断業務を通じ、病理診断の基礎も習得する事が可能です。インターベンショナルラジオロジー(血管内や経皮的に侵襲手技を行い診断・治療を行う分野、IVR)も必要とされる基礎手技を取得するための指導医・症例共に充実しているだけでなく、亀田ならではの先進的なIVR経験も可能です。後期研修を亀田総合病院で行ってみませんか？

※ 猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります。
東京医科歯科大学

(注意事項)

- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します。